

夢と未来のサポーター

ごあいさつ

日頃、皆さまには格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。本年も当金庫に
対するご理解をより一層深めていただきたく、ディスクロージャー誌「SAWAYAKA
SHINKIN REPORT 2026」を作成しました。ぜひ、ご一読くださいますよう
お願い申し上げます。

2025年度は、国内外の金融経済環境が大きく転換する中で、金融機関には一層の
適応力が求められた1年となりました。地政学的リスクが高まる国際情勢については、
先行きの不透明感が拭えない状況です。資源価格や為替相場の変動を通じて、金融
市場および実体経済に影響が及んでいます。

日本国内では、物価や賃金の上昇等が続いていることから、政策金利の継続的な引
上げが実施されています。中小企業においては物価上昇によるコスト増加を価格転嫁
で吸収することは難しく、加えて人手不足や後継者問題等多くの課題を抱えています。
こうした金融経済環境の中で、当金庫は地域密着型金融機関として、伴走支援を通じ
たお取引先の課題解決に努め、地域経済の持続的な発展を目指してまいりました。

「第八次さわやか3ヵ年計画」の中間年度である2025年度の期末預金残高は、
1兆5,511億円（前期比+70億円）となりました。期末貸出金残高は、不動産価格高
騰に伴う売却案件の増加や再開発組合等に対する短期融資のご返済もあり、9,
047億円（前期比△144億円）となりました。損益については、長期金利上昇に伴う
債券の評価損を抑制するため、超長期国債の売却を実施する等の減収要因がありまし
たが、当期純利益は25億円（前期比△2億円）を確保することができました。これによ
り自己資本比率は、9.95%（前期比+0.21ポイント）となりました。

2026年度は、創立100周年を迎えます。これまでご支援いただいた地域の皆さまに
感謝し、「地域の持続的発展と明るい未来の創造」を目指してまいります。

どうぞ、今後とも変わらぬご支援ご愛顧を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

2026年7月

目次

ごあいさつ	2
経営理念・行動指針	3
役員・組織図	4
100周年	5
さわやか信用金庫の考え方	7
業績ハイライト	9
法人・事業主のお客さまへの取り組み	11
人材育成	18
個人のお客さまへの取り組み	19
SDGsへの取り組み	21
トピックス	21
総代会	23
店舗一覧	25

理事長
三澤 義幸

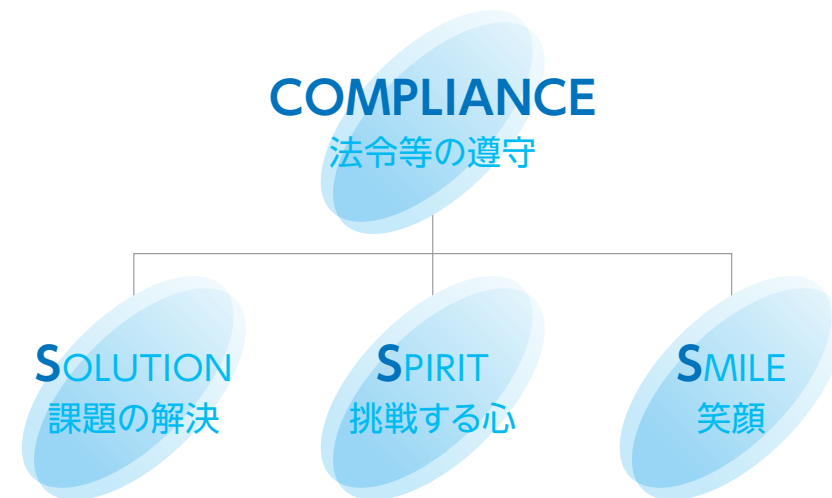
経営理念

さわやか信用金庫は
地域に根ざし
人々に寄り添い
中小企業とともに歩みます。

あらゆる課題に向き合い
あらゆる変化に挑み
明るい未来を創造します。

行動指針

私たちが大切にしたい **コンプライアンス** と **3つのS**



当金庫は、あらゆる課題や変化に挑戦し、常に感謝の気持ちと笑顔を忘れずに
地域の皆様のお役に立ち続ける金庫を目指します。

当金庫の概要 (2026年3月31日)

所在地	本部：東京都大田区萩中2丁目2番1号 本店：東京都港区三田5丁目21番5号	営業地区	東京都
創立	1926年(大正15年)11月11日		23区、八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、府中市、 昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、 国分寺市、国立市、西東京市、
出資金	132億円		狛江市、多摩市、稲城市
預金量	1兆5,511億円		横浜市：鶴見区、神奈川区、港北区、 緑区、青葉区、都筑区
融資量	9,047億円	神奈川県	川崎市：全区 相模原市(旧津久井町、旧相模湖町、 旧藤野町、旧城山町を除く)
店舗数	63店舗(うち8出張所)		
店外ATM	12カ所		
役職員数	897名		

役員・組織図

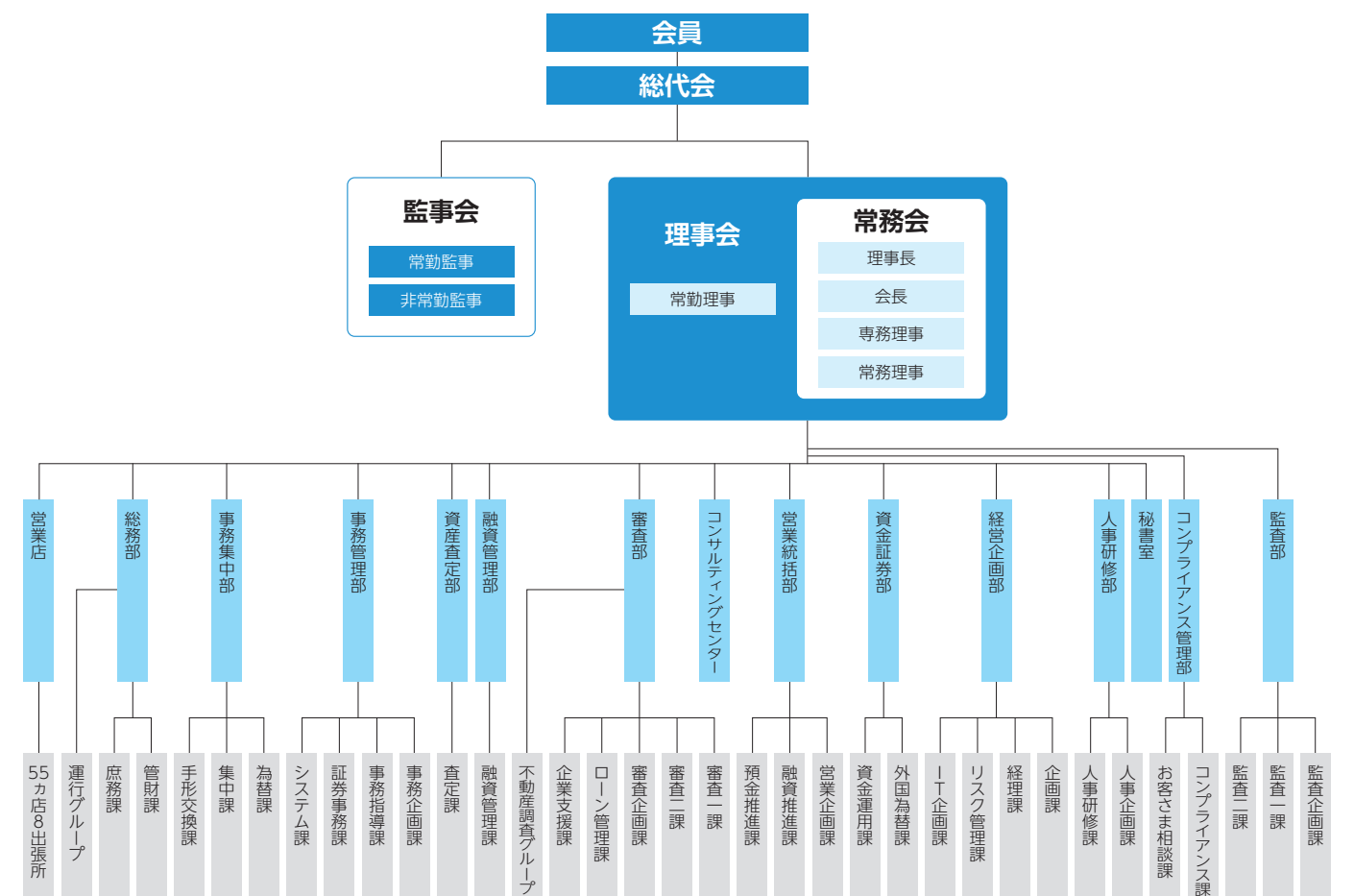
今後とも、さわやか信用金庫を宜しくお願いいたします。

役員一覧 (2026年7月17日)



※1 常務理事 其田修一は、信用金庫業界の「総代会の機能向上策等に関する業界申し合わせ」に基づく職員外理事であります。
※2 非常勤監事 廣田哲治は、信用金庫法第32条第5項に定める員外監事であります。

組織図 (2026年7月1日)



当金庫は2026年11月11日に創立

地域とともに歩んだ100年を紹介します

100周年を迎えます

100周年
特設サイトは
こちら



—— 時を越え、3つの

想いがひとつに ——

1つ目の源流 同栄信用金庫

▶ 1926年11月11日 前身が発足



昭和初期 港区



同栄信用金庫 本店営業部



品川支店

2つ目の源流 港信用金庫

▶ 1926年11月 前身が発足



関東大震災後の復興



港信用金庫 本店



麻布支店

3つ目の源流 東京産業信用金庫

▶ 1919年5月 前身が発足



海苔の養殖



東京産業信用金庫
本店営業部



戸越銀座支店

▶ 2001年10月
同栄信用金庫と
港信用金庫が合併
東都中央信用金庫
に名称変更

▶ 2002年10月
さわやか信用金庫
として
新たなスタート

さわやか信用金庫のあゆみ

▶ 2019年3月



本部・羽田支店
リニューアルオープン

▶ 2021年10月



赤坂支店
リニューアルオープン

▶ 2019年5月



令和リーダーズクラブ発足

▶ 2022年1月



渋谷支店・恵比寿駅前支店
リニューアルオープン

▶ 2005年12月



本店営業部
リニューアルオープン

▶ 2014年7月



さわやか塾タイ産業視察

▶ 2020年9月



ビジネスマッチングセンター
グランドオープン
(羽田イノベーションシティ内)

▶ 2024年10月



大森支店
リニューアルオープン

100周年アニバーサリーイヤーとして、

さまざまな企画を実施しております



100周年記念
事業者向け
AI特別講演会
2025年5月29日

明治記念館でAI特別講演会を開催し、164名のお客さまが参加しました。前デジタル大臣 衆議院議員 平 将明様および株式会社NTTデータの野村様を講師に迎え、生成AIの最新動向やDX・AIによる課題解決をテーマに講演を実施し、参加者同士の交流・連携強化を図りました。



100周年記念
ハワイホノルル
3泊5日の旅
2025年11月11日～
12月20日

138名のお客さまが参加し、ホノルル市内観光の他、ワイキキ周辺巡回トロリーバス周遊券を使用し、ショッピングやワイキキビーチの雄大な海の景観を楽しめました。その他、各種オプションツアーのご案内や、ハワイの伝統文化と食事を楽しむパーティもありました。



100周年記念
ゲートボール大会
2026年4月13日

高齢者の健康増進と地域住民の交流促進に寄与している大田区ゲートボール大会の趣旨に賛同し、大田スタジアムにおいて開催しました。当日は多くの地域の皆さまにご参加いただき、和やかな雰囲気の中で親睦が深められました。



100周年記念
飛騨高山
1泊2日の旅
2026年4月20日～29日

約330名のお客さまが参加し、宿泊先の「ホテルアソシア高山リゾート」で客室や露天風呂から北アルプスの大パノラマを楽しみました。また、「飛騨の里」や「宮川朝市」などを巡り、地域の歴史や文化にも触れる機会となりました。

◆ さわやか信用金庫の考え方

2024年度から始まる「第八次さわやか3ヵ年計画」は、その最終年度に100周年を迎えることから、「100周年、未来への挑戦」をテーマに策定しました。100年間の大きな環境変化の中で、信用金庫の使命を果たしてきたことを関係する全ての人々に感謝し、さらに成長を遂げるための新たな出発点とします。

第八次さわやか3ヵ年計画 (2024~2026年度)

100周年、 未来への挑戦

～地域の持続的発展と
明るい未来の創造～

1

100周年に 向けて

- ・お客さまとのリレーションシップ強化
- ・100周年記念商品の販売



2

課題解決型 営業強化

- ・事業所および個人先への支援強化



3

地域への支援

- ・安全・安心な街づくりへの支援
- ・地域コミュニティへの参画



4

金庫の体質強化

- ・財務体質の強化
- ・営業基盤の強化
- ・生産性向上
- ・SDGs・GXへの取り組み
- ・セキュリティ対策の強化



5

コンプライアンスと 職員のやりがい向上

- ・コンプライアンス態勢の強化
- ・職員が活躍する仕組みづくりと
人材活用



第七次さわやか 3ヵ年計画 (2021~2023年度)

新三位一体改革 ～セカンドステージ～

1 意識改革 使命の認識と 環境変化への即応

2 新戦略の実施 課題解決型営業 地域No.1を指向

3 仕組みの変革 持続可能な ビジネスモデルの ステップアップ

新たな3ヵ年へ(5つの取り組み)

業績ハイライト

2026年3月期預金量

1兆5,511億円

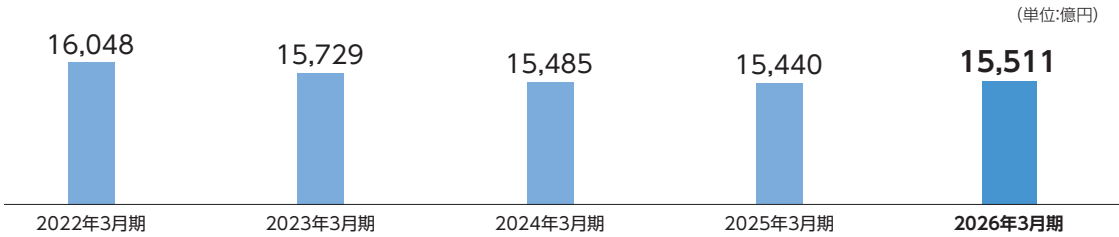
都内23信用金庫中 第8位
全国254信用金庫中 第25位

2026年3月期融資量

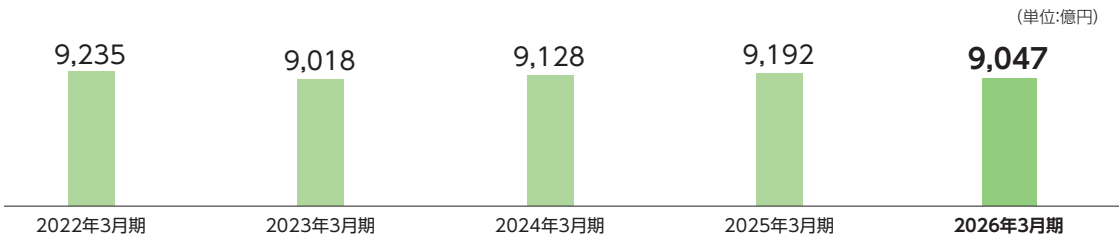
9,047億円

都内23信用金庫中 第8位
全国254信用金庫中 第23位

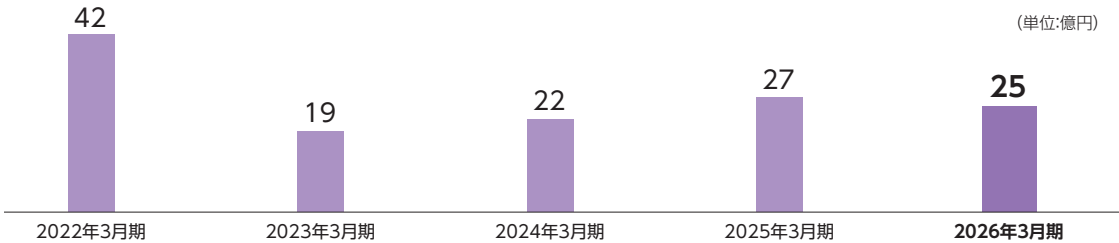
預金量



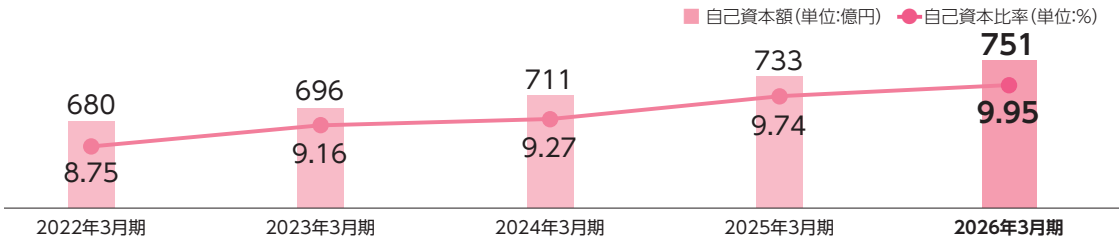
融資量



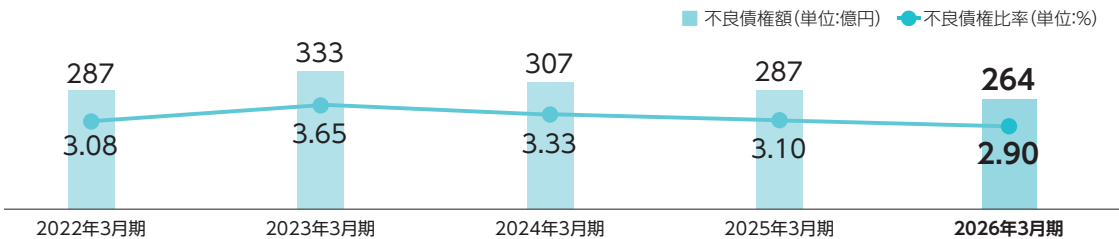
当期純利益



自己資本額・
自己資本比率



不良債権額・
不良債権比率



貸借対照表

2026年3月31日現在 単位:百万円

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金	15,339	預金	1,551,124
預け金	287,423	当座預金	59,711
有価証券	405,687	普通預金	826,268
国債	115,013	貯蓄預金	6,578
地方債	123,602	通知預金	2,606
社債	95,835	定期預金	616,059
株式	2,321	定期積金	25,893
その他の証券	68,914	その他の預金	14,006
貸出金	904,786	借入金	33,885
割引手形	1,582	借入金	33,885
手形貸付	35,112	コールマネー	233
証書貸付	839,018	外国為替	25
当座貸越	29,072	未払外国為替	25
外国為替	368	その他の負債	6,663
外国他店預け	368	未決済為替借	791
その他の資産	11,709	未払費用	1,534
未決済為替貸	512	給付補填備金	21
信金中金出資金	8,456	未払法人税等	617
未収収益	1,751	前受収益	506
金融派生商品	26	払戻未済金	259
その他の資産	962	払戻未済持分	2
有形固定資産	15,545	職員預り金	486
建物	5,272	金融派生商品	198
土地	9,083	リース債務	1,054
リース資産	775	資産除去債務	56
その他の有形固定資産	413	その他の負債	1,132
無形固定資産	717	賞与引当金	666
ソフトウェア	159	退職給付引当金	331
リース資産	183	役員退職慰労引当金	261
その他の無形固定資産	374	睡眠預金払戻損失引当金	57
繰延税金資産	6,534	偶発損失引当金	281
債務保証見返	5,549	再評価に係る繰延税金負債	963
貸倒引当金	△3,029	債務保証	5,549
(うち個別貸倒引当金)	(△2,064)	負債の部合計	1,600,042
		(純資産の部)	
		出資金	13,228
		普通出資金	13,228
		利益剰余金	62,069
		利益準備金	12,011
		その他利益剰余金	50,057
		特別積立金	16,937
		(固定資産圧縮積立金)	817
		(その他の目的積立金)	6,177
		当期末処分剰余金	33,120
		処分未済持分	△1
		会員勘定合計	75,295
		その他有価証券評価差額金	△24,855
		土地再評価差額金	149
		評価・換算差額等合計	△24,705
		純資産の部合計	50,589
資産の部合計	1,650,632	負債及び純資産の部合計	1,650,632

損益計算書

2025年4月1日から2026年3月31日まで 単位:百万円

科目	金額
経常収益	25,586
資金運用収益	21,444
貸出金利息	16,524
預け金利息	1,430
有価証券利息配当金	3,287
その他の受入利息	202
役務取引等収益	2,102
受入為替手数料	876
その他の役務収益	1,225
その他業務収益	188
外国為替売買益	127
国債等債券売却益	0
その他の業務収益	60
その他経常収益	1,851
貸倒引当金戻入益	179
償却債権取立益	128
株式等売却益	1,523
その他の経常収益	19
経常費用	22,026
資金調達費用	3,201
預金利息	2,946
給付補填備金繰入額	13
借入金利息	230
コールマネー利息	8
その他の支払利息	2
役務取引等費用	817
支払為替手数料	195
その他の役務費用	621
その他業務費用	3,715
国債等債券売却損	3,120
金融派生商品費用	531
その他の業務費用	63
経費	13,843
人件費	8,379
物件費	4,897
税金	565
その他経常費用	448
貸出金償却	98
その他資産償却	0
その他の経常費用	349
経常利益	3,560
特別損失	123
固定資産処分損失	9
減損損失	114
税引前当期純利益	3,436
法人税、住民税及び事業税	855
法人税等調整額	78
法人税等合計	934
当期純利益	2,502
繰越金(当期首残高)	30,601
圧縮積立金取崩額	16
当期末処分剰余金	33,120